

認知症になっても住み慣れた地域で生活していくために…

認知症初期集中支援チーム

認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、認知症の早期発見・早期支援を目的に「認知症初期集中支援チーム」が活動を始めています。

認知症初期集中支援チームとは

医師と、保健師・介護支援専門員等（医療・介護の専門職）で構成されているチームです。



こんなサポートをします

認知機能の低下により、どのような生活上の困難さがあるのか、ご本人やご家族が困っていることなどを家庭訪問により確認し、医療や介護につなげていくために集中的な支援をします。

対象となる方は

町内在住で自宅で生活されている40歳以上の方で①に該当し、さらに②か③に該当する方

- ①認知症が疑われる方又は認知症の方
- ②医療・介護サービスを受けていない方又は中断している方
- ③認知症の行動及び心理症状が顕著である方

ご相談・ご連絡は

愛別町地域包括支援センター

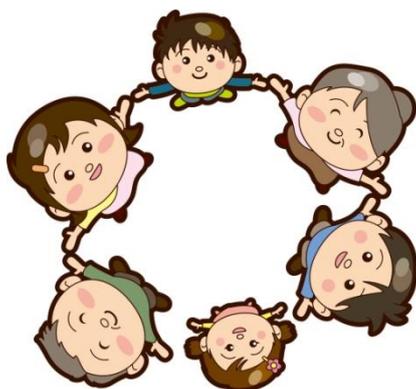
6-4771(直通)

6-5111(内線134)

愛別町字本町 179 番地 役場 1 階

月曜日～金曜日(祝日・休日・年末年始除く)

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分



認知症初期集中支援チーム 支援の流れ

「もしかして…」 「認知症かな…」 「ちょっと心配…」 と思ったら？

例えばあなた自身やあなたの周りの方にこんな様子がある時…

- ◆ 5分前と同じことを言ったり聞いたりする
- ◆ 置き忘れやしまい忘れが目立ったり、大事なものを頻繁に紛失する
- ◆ 同じものばかり買ってくる
- ◆ 怒りっぽくなったり、人との関わりを拒む
- ◆ 元気がない、趣味や家事をしなくなった
- ◆ 衣服を交換せず同じものばかり着る、においがする
- ◆ 上記の症状があり、病院に行くことを勧めるが嫌がる
- ◆ 近所でも、認知症ではないかと心配の声がある



まずは、地域包括支援センターへ相談



電話相談

窓口相談



認知症初期の集中的な支援が必要と判断される場合

認知症初期集中支援チーム



家庭訪問



認知症初期集中支援チーム

サポート



認知症の症状に合った対応等のアドバイス

調整



必要性に応じて専門医療機関への受診を促したり、介護サービス等の活用の検討

医療や介護サービスに関係する機関が、継続的にご本人や家族のサポートをしていけるよう引き継ぎをします